

申請者の現状(基本情報)

作成日	2008年〇月〇日	相談支援事業者名	H相談支援センター	計画作成担当者	
氏名	T様	生年月日	2006年〇月〇日	年齢	1歳9ヶ月
保護者氏名	T様	本人との続柄	母		
住所	埼玉県			電話番号	
	[待家・借家・グループ/ケアホーム・入所施設・医療機関・その他(アパート)]			FAX番号	
障害または疾患名	脳性麻痺・精神発達遅滞・てんかん	障害支援区分		性別	男・女

1. 概要(支援経過・現状と課題等)

支援に至る経過：2008年に在胎40週予定日を過ぎても陣痛なく、L病院に入院し誘発受けた。途中で胎児仮死兆候が見られたため吸引分娩となる。3082gで出生。

出生後呼吸困難が続き、A病院NICUへ搬送。挿管、人工呼吸器3週間使用、11日後抜管。頭部MRIは多嚢胞性白質軟化症の所見あり。生後4ヶ月で退院し在宅生活始まる。2007年在宅の支援について検討したいとA病院MSWより連絡あり、病院カンファレンスに参加。

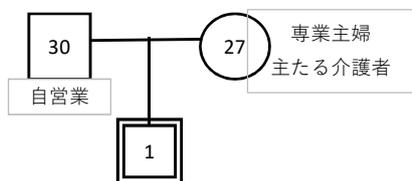
現状

本人：健康面：定額なし。四肢麻痺でねたきり。体温コントロール未熟。固視・追視なし。
経鼻胃管による経管栄養。口腔・鼻腔の吸引ほとんどなし。夜は比較的よく寝る。
コミュニケーション：表情や、舌を少し動かすなどで表現している様子あり。聴覚は聞こえている様子あり。
異動：抱っこ。ハギー。
対人関係：人との関わりを好む様子あり。

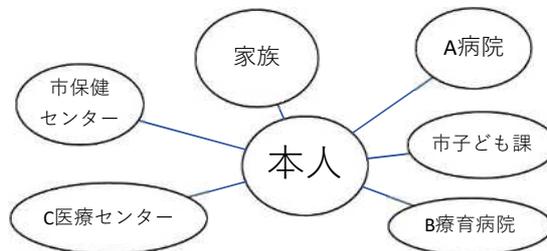
家族：両親・本人の3人家族。本人第1子。
主たる介護者は母である。父は入浴等手伝ってくれる
両親ともに養育頑張っている。。

課題：本人の発達支援。
母の育児、介護負担が大きい。母疲労あり。

家族構成 ※年齢、職業、主たる介護者等を記入



社会関係図 ※本人と関わりを持つ機関・人物等(役割)



生活歴 ※受診歴等含む

妊娠40週。予定日過ぎても陣痛がなく入院して陣痛促進剤使用、胎児仮死兆候があり吸引分娩で、3082g出生。呼吸困難あり挿管し、呼吸器管理(22日間)となる。3日間低体温療法行う。生後4か月で退院。退院前にVF検査実施し誤嚥は認められなかったが、経口摂取でむせると、1時間ぐらい呼吸困難続くため経口摂取を行っていなかった。出生後より、痙攣があり、入院中の脳波で異常が認められ、内服薬で対応していた。2007年11月～2ヶ月、T小児総合医療センターへ母子入園している。

医療の状況 ※受診科目、頻度、主治医、疾患名、服薬状況等

- ・A病院(小児科・〇〇医師)1回/月
- ・B療育病院(小児科・〇〇医師)1/3ヶ月、
- ・C小児総合医療センター(内分泌代謝科・〇〇医師)

本人の主訴(意向・希望)

- ・入院しないで家で過ごしたい。
- ・いろんな人と関わって楽しく過ごしたい。

家族の主訴(意向・希望)

- ・入院せずに体調が安定してほしい。
- ・子どもの喜ぶことをしてあげたい。
- ・子育てに不安がある。
- ・健康な子どもと同じように育てていけるのかわからないことが多い。
- ・自分たちだけで頑張らなければならないのか？

3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考
公的支援(障害福祉サービス、介護保険等)	訪問看護	D訪問看護ステーション	入浴支援と健康状態の確認	1/週	母の疲労感などを確認する。
その他の支援	身体機能訓練	A病院 B療育病院	PT OT PT	1/週 1/月 1/週	

申請者の現状(基本情報)【現在の生活】

資料2-②

利用者氏名(児童氏名)	T様	相談支援事業者名	H相談支援センター	計画作成担当者	
-------------	----	----------	-----------	---------	--

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00	睡眠 起床	睡眠 起床	睡眠 起床	睡眠 起床	睡眠 起床	睡眠 起床	睡眠 起床	・主な介護は母が中心。 ・入浴は、父が行っている。 ・注入は、7.12.17.22に1時間かけて行っている ・週1～3回受診や訓練あり、その際移動は車で母が運転。
8:00	注入	注入	注入	注入	注入	注入	注入	
10:00	通院 水分				通院 水分			
12:00	注入	注入	注入	注入	注入	注入	注入	
14:00	午睡	午睡	午睡	午睡	午睡	午睡	午睡	
16:00	水分	水分	水分	水分	水分	水分	水分	
18:00	注入	注入	注入	入浴(訪問看護) 注入	注入	注入	注入	
20:00	水分 入浴(父)	水分 入浴(父)	水分 入浴(父)	水分	水分 入浴(父)	水分 入浴(父)	水分 入浴(父)	
22:00	注入	注入	注入	注入	注入	注入	注入	
0:00								
2:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	
4:00								

週単位以外のサービス

【医療】

- ・A病院(小児科)1回/月
(PT) 1/週
- ・B療育病院(小児科)1回/3ヶ月
(整形外科)1回/3ヶ月
(PT) 1回/週
(OT) 1回/月
- ・C小児総合医療センター
(内分泌科)1回/月
- ・G訪問看護ステーション(入浴)
1回/週

一次アセスメント		専門的アセスメント		ニーズの整理		
表明されているニーズ	① 本人の状況 ② 環境の状況	推測できること	依頼先内容	専門的アセスメントの結果	本人はどんな人？	解決すべき課題 (整理された) 本人のニーズ
<p>【本人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院しないで家で過ごしたい。 ・いろんな人と関わって楽しく過ごしたい。 <p>【家族】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院せずに体調が安定してほしい。 ・子どもの喜ぶことをしてあげたい。 ・子育てに不安がある。 ・健康な子どもと同じように育てていけるのかわからないことが多い。 ・自分たちだけで頑張らなければならないのか？ 	<p>①本人の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けいれん発作がある。 ・経管栄養5回／日 ・吸引が適宜必要 ・ADL全介助 ・人と関わるのが好き ・にぎやかな場所が好き。 ・快、不快を表情や下の動きで表現する。 ・関わる人の反応を見て楽しんでいる。 <p>②環境の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1子であり、子育てに不安がある。 ・主たる介助者は母 ・父も協力的だが、仕事のため、日常的なケアは難しい。 ・母方の祖母が母の支えになっている。 	<p>【本人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調が安定していればいろいろな経験を楽しむことができるのではないか。 ・家族以外の他者や同年代の子どもと関わる機会が必要ではないか。 ・就学等も見据えて集団で過ごす経験も必要ではないか。 <p>【家族】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母の負担の軽減と子育ての支援が必要ではないか。 ・母の思いを聞くなどの日常的な心理的サポートを求めているのではないか。 			<p>医療的ケアが必要であり、身の回りのことは全て介助を要するが、表情や舌の動きで気持ちが表現できたり、関わる人の反応を見て楽しんでおり、ちょっとお調子者。年の近いのお友達ができると良いなあ。</p>	<p>なるべく入院せずに家で過ごしたい。</p> <p>いろいろな人と出会って、新しい経験をした。い。（保育園や幼稚園に通えるように）</p> <p>家族が日常的な相談をしたい。</p> <p>母が休息できる時間を確保したい。</p>
総合的な援助の方針	両親が初めての子育てを相談しながら、本人の成長を楽しみ同年代の子供と同じような生活ができるようになる準備を進めていく。					

障害児支援利用計画(案)

資料4-①

利用者氏名(児童氏名)	T様	障害支援区分		相談支援事業者名	H相談支援センター
保護者氏名	T様	本人との続柄	母	計画作成担当者	
障害福祉サービス受給者証番号					
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

計画作成日	2008年〇月〇日	モニタリング期間(開始年月)	当初3ヵ月毎月(2008年〇月)	利用者同意署名欄	
-------	-----------	----------------	------------------	----------	--

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>本人：入院しないで家で過ごしたい。 いろいろな人に関わって楽しく過ごしたい。</p> <p>家族：入院せずに体調が安定してほしい。子どもの喜ぶことをしてあげたい。 子育てに不安がある。健康な子どもと同じように育てていけるのかわからないことが多い。 自分たちだけで頑張らなければならないのか？</p>
総合的な援助の方針	両親が初めての子育てを相談しながら、本人の成長を楽しみ同年代の子供と同じような生活ができるようになる準備を進めていく。
長期目標	日々の体調が安定し、お友達と楽しく過ごす。
短期目標	自宅外で、両親以外の人と過ごすことができる。

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	なるべく入院せずに家で過ごしたい。(本人・家族)	日々の体調が安定するように支援し、落ち着いて生活が送れる。	6ヶ月	リハビリ：PT 1回/週、OT 1回/月 定期受診：小児科 1回/3ヶ月 整形外科 1回/3ヶ月 内分泌代謝科 1回/月 訪問看護：入浴 1回/週・1時間	快不快を表情等で伝える。	3ヵ月	本人の体調など、母と密に連絡を取り合う。 本人の体調・様子を見ながらサービスを利用する。 母がまとまった休息をとれるよう福祉サービスの開発や事業者への働きかけを随時行う。
2	いろいろな人と出会って、新しい経験をしたい。(保育園や幼稚園に通えるように)(本人)	先々の保育園・幼稚園も視野に入れ、家以外の場所や人とのかわかりに慣れるよう支援する。	3ヵ月	日中一時支援：同年代との関わり 週1~5回 グループリハ：集団遊び 1回/週	快不快を表情等で伝える。 新しい支援者との仲良くなる。	4ヵ月	
3	家族が日常的な相談をしたい。(家族)	お母さんの困ったことや不安に思うことを共有しながら、今後の生活を一緒に考えていく。	1ヵ月	保健センター：検診 病院：医療的な相談 通院時 訪問看護：ケアについての相談 訪問時 指定相談支援：モニタリング 1回/月	些細なことでも気になることは相談してみる。	5ヵ月	
4	母が休息できる時間を確保したい。(家族)	母や父の心身ともに休むことのできる時間を作りだす。	1ヵ月	訪問看護：入浴 1回/週 日中一時支援：一時預かり 週1~5回	支援者と相談しながら休息の時間を持つ。	6ヵ月	
5							

サービス等利用計画・障害児支援利用計画【週間計画表】(案)

資料4-②

利用者氏名(児童氏名)	T 様	障害支援区分		相談支援事業者名	相談支援センター
保護者氏名	T 様	本人との続柄	母	計画作成担当者	
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額		計画開始年月	2008年〇月
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動	
6:00	就寝 起床	就寝 起床	就寝 起床	就寝 起床	就寝 起床	就寝 起床	就寝 起床	・主な介護は母が中心。 ・入浴は、父が行っている。 ・注入は、7.12.17.22に1時間かけて行っている ・週1～3回受診や訓練あり、その際移動は車で母が運転。	
8:00	注入	注入	注入	注入	注入	注入	注入		
10:00	移動	移動	移動	移動	通院				
12:00	日中一時	訓練	日中一時	訓練	水分	水分	水分		
14:00		日中一時		日中一時	注入	注入	注入		
16:00	移動	移動	移動	移動	午睡	午睡	午睡		
18:00	注入	注入	注入	入浴(訪問看) 注入	水分	水分	水分		
20:00	注入	注入	注入	注入	注入	注入	注入		
22:00	水分	水分	水分	水分	水分	水分	水分		
	入浴(父)	入浴(父)	入浴(父)	入浴(父)	入浴(父)	入浴(父)	入浴(父)		
	注入	注入	注入	注入	注入	注入	注入		
0:00									
2:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠		
4:00									
									週単位以外のサービス 【福祉サービス】 ・D療育センター 日中一時支援 1回～5回/週 【医療】 ・A病院(小児科)1回/月 (PT) 1/週 ・B療育病院(小児科)1回/3ヶ月 (整形外科)1回/3ヶ月 (OT)1回/月 ・C小児総合医療センター (内分泌科)1回/月 ・D療育センター(PT)1回/週 (グループ訓練)1回/週 ・H訪問看護ステーション 1回 1時間30分 1回/週
サービス提供により実現する生活の全体像	看護師、保育士や同年代の子どもがいる日中一時支援を利用することで、本人の体調に配慮しながら、子どもらしい生活ができ、保育園・幼稚園の通園のための練習となる。また、母子分離での預かりを利用することで、母がゆっくり家事をしたり、休息する時間が持てるようになる。入浴の支援が入ることで、母の話を聞くことが出来たり、父もゆっくりお風呂に入れる日ができる。								

申請者の現状(基本情報)

作成日	2019年〇月〇日	相談支援事業者名	H相談支援センター	計画作成担当者	
氏名	T様	生年月日	2006年〇月〇日	年齢	13歳
保護者氏名	T様	本人との続柄	母		
住所	埼玉県			電話番号	
	[持家・借家・グループ/ケアホーム・入所施設・医療機関・その他(アパート)]			FAX番号	
障害または疾患名	脳性麻痺・精神発達遅滞・てんかん	障害支援区分		性別	男・女

1. 概要(支援経過・現状と課題等)

支援の経過：1歳9ヶ月に病院での在宅支援についてのカンファレンスに参加。日中の活動の場などのサービス調整を行った。その後、胃ろう造設、気管切開等の本人の医療度の変化や就学、弟の出生など生活状況の変化に合わせて、家族と相談しサービス进行调整。今回、本人の成長や呼吸器管理や定期導尿など本人の医療の重度化に伴い、生活プランの見直しについて、ご家族からの希望あった。

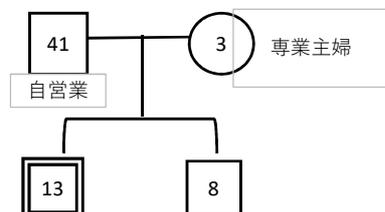
現状

本人：健康面：定額なし。四肢麻痺でねたきり。体温コントロール未熟。固視・追視なし。
胃ろうによる経管栄養。口腔・鼻腔の吸引ほとんどなし。夜は比較的よく寝る。
2016年より夜間呼吸器を導入していたが、日中でも呼吸苦あり24時間呼吸器管理となる。
尿路感染による入院があり、定期的導尿開始となった。
体調を崩し、入院する頻度が増えた。
コミュニケーション：表情でのコミュニケーションはあり、少し慣れた人も本人の様子が分かる。
移動：車いす
対人関係：人との関わりを好む。特に学校が好き。

家族：両親・本人、弟の4人家族。
主たる介護者は母である。父は入浴等手伝ってくれる。

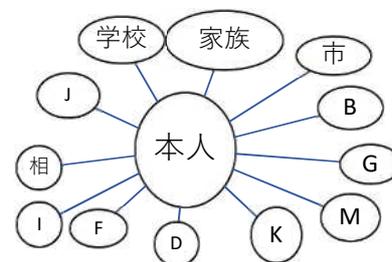
課題：本人の医療の重度化や体調の変化あるため、学校など今までと同様の生活でよいのか？
24時間呼吸器管理となったため、学校は母の付き添いが必要。
弟の行事等も増え、母も更に忙しい。
父は腰痛ある。

家族構成 ※年齢、職業、主たる介護者等を記入



社会関係図 ※本人と関わりを持つ機関・人物等(役割)

家族
B療育病院
市福祉課
M医療センター
G訪問看護ステーション
K訪問看護
D療育センター
F放課後等デイサービス
I居宅介護事業所
J訪問クリニック
相談支援センター



生活歴 ※受診歴等含む

・妊娠40週。予定日過ぎても陣痛がなく入院して陣痛促進剤使用、胎児仮死兆候があり吸引分娩で、3082g出生。呼吸困難あり挿管し、呼吸器管理(22日間)となる。3日間低体温療法を行う。生後4か月で退院。退院前にV/F検査実施し誤嚥は認められなかったが、経口摂取でむせると、1時間ぐらい呼吸困難続くため経口摂取を行っていなかった。出生後より、痙攣があり、入院中の脳波で異常が認められ、内服薬で対応していた。2007年11月～2ヶ月、T小児総合医療センターへ母子入園している。
・2010年3月より、母の付き添いで幼稚園の通園を週1～3日始める。2011年第2子出産に合わせて短期入所利用開始。同年食道裂孔ヘルニアの根治術し、胃ろう増設。2013年3月幼稚園卒園。同年4月特別支援学校小学部入学(母の付き添い日あり)。2015年、本人の体格がよくなり、一人での入浴介助が大変になったため、入浴の支援を入れる。2016年肺炎の入院繰り返し、夜間のみ呼吸器導入。2019年、尿路感染での入院あり、定期的導尿開始、24時間呼吸器管理となった。

医療の状況 ※受診科目、頻度、主治医、疾患名、服薬状況等

・J訪問クリニック 1回/月+必要時
・B療育病院(小児科)1回/3ヶ月
(整形外科)1回/6ヶ月
(OT)1回/月
(PT)1回/3ヶ月
・M医療センター(小児神経)1回/月
(内分泌科)必要時

本人の主訴(意向・希望)

・入院しないで家で過ごしたい。
・友達と一緒に勉強したり遊んだりしたい。

家族の主訴(意向・希望)

入院をしないで、体調が安定して過ごさせたい。
お風呂が好きなので入れてあげたい。
学校に通わせたい。短期入所を利用できるところがほしい。
コミュニケーション力を・反応を高めていきたい。
弟たちの時間もつって上げてほしい。

3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考
公的支援 (障害福祉 サービス、 介護保険 等)	訪問看護	G訪問看護ステーション K訪問看護	入浴支援と健康状態の確認	1/週	母の疲労感などを確認する。
その他の 支援	身体機能訓練	B療育病院	OT PT	1/月 1/3ヶ月	身体機能の維持

障害児支援利用計画(案)

資料6-①

利用者氏名(児童氏名)	T様	障害支援区分		相談支援事業者名	H相談支援センター
保護者氏名	T様	本人との続柄	母	計画作成担当者	
障害福祉サービス受給者証番号					
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

計画作成日	2019年〇年〇日	モニタリング期間(開始年月)	6ヶ月(2019年〇月)	利用者同意署名欄	
-------	-----------	----------------	--------------	----------	--

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>本人：入院しないで家で過ごしたい。 友達と一緒に勉強したり遊んだりしたい。</p> <p>家族：入院をしないで、体調を安定して過ごさせたい。お風呂が好きなので入れてあげたい。 学校に通わせたい。短期入所を利用できるところがほしい。コミュニケーション力を・反応を高めていきたい。 弟との時間も作ってあげたい。</p>
総合的な援助の方針	日々の体調チェックなどで体調を整え、学校や事業所で友だちや先生と楽しい時間を過ごしたり、様々な経験ができるよう支援します。また、家族の介護の負担感を軽減し、母の休息や弟とも過ごす時間を持てるように支援します。
長期目標	体調が安定し、友だち・先生と楽しい学校生活を送り、様々な環境や家族以外の人にも慣れていくことで、本人の自立に繋がる。
短期目標	日常生活や学校等で様々な人と関わる中で本人が意思を伝えられる。

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価 時期	その他留意事項
1	入院しないで元気に過ごしたい。体調が安定して過ごさせたい。(本人・家族)	体調の安定に注意し、毎日学校に行けるよう支援します		訪問診療：体調の安定と緊急時の対応 1回/月+必要時 定期受診：週間計案に詳細を記載 訪問看護：体調確認 週3回・2時間/回	・よく寝て体調を整える ・リハビリなどを頑張る。 ・快不快を表情等で伝える。	6ヶ月	・本人の体調など、母と密に連絡を取り合い、無理のないサービス提供を行う。 ・短期入所は本人の体調をみながら利用。
2	友だちやたくさんの人と楽しい時間をすごしたい(本人)	授業や活動などに参加し、本人の楽しみや興味が広がるよう支援します。		特別支援学校 身体介護：入浴に係る介助 20時間/月(2人派遣) 3回/週、1時間/回	・授業や活動に積極的に参加し、楽しむ不快を表情等で伝える。 ・活動や人との関わりを楽しむ	6ヶ月	・訪問入浴については気管切開、側弯や筋緊張、本人の成長に留意する。本人、介護者の安全面を考慮し基本入浴介助は3名で対応する。 ・居宅介護が2名入れない場合は、訪問看護で看護師2名を手配する。
3	気持ちを伝えたい。(本人) コミュニケーション力を高めてほしい。(家族)	表情や反応を見て、本人の意思が伝わるように関わります。		短期入所(医療型(重心))：レスパイト 月7日 日中一時支援：生活支援 1~2回/月	・いろんな人と関わる ・気持ちを表情などで相手に伝える	6ヶ月	
4	介護者の体を休める時間や弟との時間も作りたい。(家族)	本人が自宅以外でも過ごしても家族が安心し、両親の介護負担軽減や休息時間の確保、弟と過ごす時間をもてるよう支援します。		放課後等デイサービス： 療育支援および放課後・休日活動提供 月8日	・家族の体調や弟の用事に合わせて計画的に利用する。	6ヶ月	
5							

障害児支援利用計画【週間計画表】(案)

資料6-②

利用者氏名(児童氏名)	T様	障害支援区分		相談支援事業者名	相談支援センター
保護者氏名	T様	本人との続柄	母	計画作成担当者	
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額		計画開始年月	2019年〇月
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00	就寝・起床 注入・導尿	就寝・起床 注入・導尿	就寝・起床 注入・導尿	就寝・起床 注入・導尿	就寝・起床 注入・導尿	就寝・起床 注入・導尿	就寝・起床 注入・導尿	平日はなるべく特別支援学校に通学。(母の付き添いあり) 放課後、居宅介護および訪問看護を利用し3人介助で入浴。 他、定時で注入や導尿を実施。 注入(水分注入) 導尿 6:00 6:30 (10:30) 12:00 12:00 16:00 (15:00) 22:00 19:00 (22:00)
8:00								
10:00	移動	移動	移動	移動	移動	移動	水分	
12:00	特別支援学校 (注入・導尿)	特別支援学校 (注入・導尿)	特別支援学校 (注入・導尿)	特別支援学校 (注入・導尿)	特別支援学校 (注入・導尿)	放課後等 デイサービス もしくは 日中一時支援 (注入・導尿)	注入・導尿	
14:00	移動	移動	移動	移動	移動	移動	水分	
16:00	訪問看護・居宅介 護	訪問看護・居宅介 護	導尿・水分	訪問看護・居宅介 護	導尿・水分	移動		
18:00								週単位以外のサービス 【福祉サービス】 日中一時支援 1~2日/月 短期入所 7日/月 放課後等デイ 8日/月
20:00	注入	注入	注入	注入	注入	注入	注入	
22:00	水分・導尿	水分・導尿	入浴(父) 水分・導尿	水分・導尿	入浴(父) 水分・導尿	入浴(父) 水分・導尿	入浴(父) 水分・導尿	【医療】 訪問診療 1回/月+必要時 定期通院(小児科)1回/3ヶ月 (整形外科)1回/6ヶ月 (OT)1回/月 (PT)1回/3ヶ月 (小児神経)1回/月 (内分泌科)必要時
0:00								
2:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	
4:00								

サービス提供により実現する生活の全体像
 友達や先生と一緒に勉強や遊びなどを通じて楽しみながら、その中でコミュニケーション力が高まる。
 またサービスを利用することで、家族の休憩時間や母が弟との時間が持て、弟の本人への気持ちにゆとりができる。入浴介助では複数人で対応することで移乗など本人の心理的な不安も軽減し、ゆっくり入浴することが可能となり、更なる体調の安定にもつながる。